



2022年6月20日

各位

会社名 象印マホービン株式会社
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 市川 典男
 (コード 7965 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役 執行役員管理本部長 真田 修
 (TEL. 06-6356-2368)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年12月24日に開示した2022年11月期(2021年11月21日～2022年11月20日)の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

(1) 2022年11月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年11月21日～2022年5月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	43,300	3,000	3,200	2,250	33.27
今回修正予想(B)	45,247	4,844	5,593	3,673	54.31
増減額(B-A)	1,947	1,844	2,393	1,423	
増減率(%)	4.5	61.5	74.8	63.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年11月期第2四半期)	42,504	4,841	4,787	3,075	45.49

(注) 2022年11月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。前期第2四半期実績につきましては、当該会計基準等適用前の数値となります。

(2) 2022年11月期連結業績予想数値の修正(2021年11月21日～2022年11月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	79,300	4,400	4,700	3,400	50.27
今回修正予想(B)	81,500	5,000	6,000	4,000	59.14
増減額(B-A)	2,200	600	1,300	600	
増減率(%)	2.8	13.6	27.7	17.6	
(ご参考)前期実績 (2021年11月期)	77,673	6,399	6,791	4,509	66.69

(注) 2022年11月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。前期実績につきましては、当該会計基準等適用前の数値となります。

(3) 修正の理由

第2四半期連結累計期間におきましては、部材の調達が一部困難な市場環境下、グループ全体で部材の確保や商品の安定的生産、供給に努めたこともあり、国内では主力の炊飯ジャーや電気ポットが好調に推移し、国内売上全体で前年実績を上回りました。

また海外では、コンテナ不足による商品供給の制約、ロックダウンによる販売活動への影響はあったものの、北米、中国、台湾、東南アジアの主要地域で炊飯ジャーなど調理家電製品の売上が増加し、海外売上全体でも好調に推移しました。

利益につきましては、原材料価格の高騰や円安の進展、また当期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用したこともあり、売上総利益率は前期より低下しましたが、売上高が増加したこと、また営業外損益の改善もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも当初予想を上回る見込みです。

今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向が引き続き不透明で、さらなる円安の進展による調達コストの上昇も懸念されますが、「ローテーションIH構造」をさらに進化させた圧力IH炊飯ジャー「炎舞炊き」の新商品や、新規カテゴリー商品の投入で売上の拡大を図ってまいります。通期予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績の状況をふまえて、前提とする為替レートの変更に伴う原価率の上昇も勘案し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の上方修正を行うものであります。

なお、今回から業績予想で前提としております為替レートを1ドル=125円(期初は1ドル=110円)に変更しております。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上